

## 取り扱い設置説明書

### スプリングローラー型スクリーン TSR-150・170／TSR-150HD

このたびはキクチプロジェクションスクリーンをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。お求めのプロジェクションスクリーンを正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの「取り扱い設置説明書」をよくお読みください。お読みになったあとは大切に保存してください。

## 安全上のご注意

下記のマークのある注意事項及び、指示内容に関しては、必ずお守りください。

### 必ずお読みください

スクリーンを正しく利用し、人や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置の仕方を誤ったときに生じる、危害や、損害の程度により次の絵表示で区分し、説明しています。



**警告**

この表示の欄は「**死亡または重傷などを負う可能性が想定される**」内容です。



**注意**

この表示の欄は「**傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される**」内容です。



**禁止**

このような絵表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。



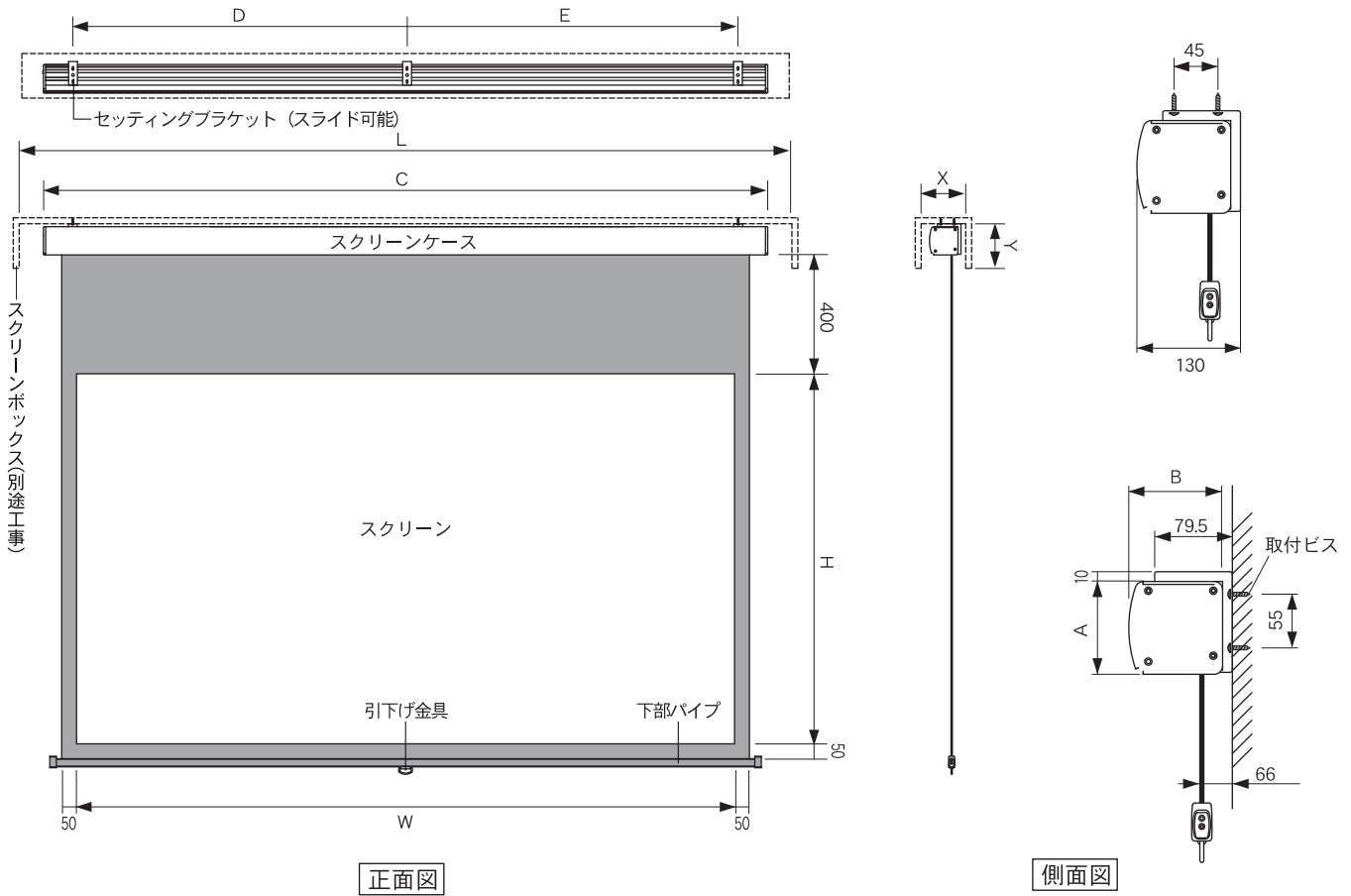
このような絵表示は、気をつけていただきたい「**注意喚起**」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただきたい「**強制**」内容です。

※取り扱い上の不備又は天災などによって発生する事故・損傷については、当社は一切責任を負いかねます。

# 各部の名称と寸法



## [NTSCタイプ4:3 ビーズ(G)/150PROG(PG)/ホワイトマット(W)]

お客様でご用意ください。

型番		スクリーンサイズ	外形寸法			推奨取り付け 穴ピッチ		重量 (kg)	ボックス寸法 (参考)				
ビーズ			ホワイトマット	W(mm)	H(mm)	A(mm)	B(mm)		C(mm)	D(mm)	E(mm)	X(mm)	Y(mm)
TSR- 150G	TSR- 150PG	TSR- 150W		3048	2286	121	120	3240	1520	1520	22.5	200	200
TSR- 170G	—————	TSR- 170W	3454	2591	121	120	3646	1722	1722	25.5	200	200	3800

## [HDタイプ16:9 ビーズ(G)/150PROG(PG)/ホワイトマット(W)]

お客様でご用意ください。

型番		スクリーンサイズ	外形寸法			推奨取り付け 穴ピッチ		重量 (kg)	ボックス寸法 (参考)				
ビーズ			ホワイトマット	W(mm)	H(mm)	A(mm)	B(mm)		C(mm)	D(mm)	E(mm)	X(mm)	Y(mm)
TSR- 150HDG	TSR- 150HDPG	TSR- 150HDW		3320	1868	121	120	3512	1655	1655	22.8	200	200

※取付穴ピッチは推奨の位置です。任意で移動することができます。※NTSCタイプ150型のGとPG、170型は有効画面内に継ぎ目が入ります。※製品の仕様およびデザインは改良等のため予告なく変更する場合があります。

## 付属品 下記の設置用部品が付属しています

**警告** 下記の設置用部品以外での取り付けはおやめください。取り付け等の不備による脱落の恐れがあります。



# スクリーンの取り付け方法



**警告**

スクリーンを設置する壁や天井が、石こうボードやパーチクルボードなどの場合は、少なくとも200kgの重量を支えられる下地が必要です。強度が心配な場合は、必要に応じて補強してください。



**注意**

◆天井取付に際し、下記の方法は絶対しないでください。

・ボードアンカーのみによる施工 ・ALCアンカーによる吊り下げ ・天井裏M/バーへ直接重荷をかける施工



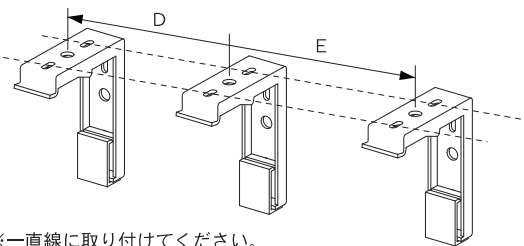
**禁止**

◆壁取付に際し、下記の方法は絶対しないでください。

・ボードアンカーのみによる施工 ・下地補強無し施工

**注意** 合板の天井または壁に設置する場合、合板は少なくとも20mm以上の厚さが必要となります。

**1** セッティングブラケットを取付ビスで穴を使って天井に+ドライバーで取り付けしてください。3ヶ所の間隔は前ページの「推奨取り付け穴ピッチD・E」を参照してください。

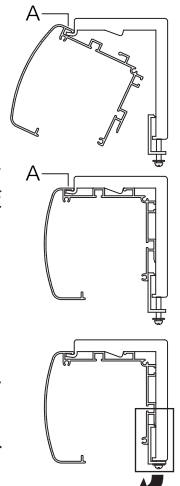


※一直線に取り付けてください。  
※壁面に取り付けする場合も、同じ手順で取り付けてください。

**注意** ◆セッティングブラケットにスクリーン本体を取り付ける時には、必ず2名で行ってください。1人で作業を行うとスクリーン本体の落下や作業者の転倒や転落などの恐れがあります。

◆ケース溝部への差し込みやブラケットストッパーの締め付けは確実に行ってください。取り付けが不完全に完了した場合は、スクリーン本体の落下によって人的障害の発生の恐れがあります。

**2** ケース天面のスライドレール前部の先端を、セッティングブラケット前部の凹みAへ、しっかり奥まで差し込んでください。

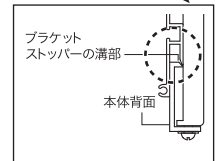
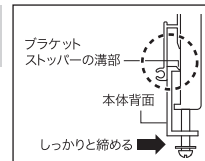


差し込んだAを支点にして、ケース背面をセッティングブラケットに押し当ててください。

※本体がしっかりと固定されるまで、必ず手を添えて作業を行ってください。

押し込みが完了したら、本体を前面から軽く押し付けながら本体背面下部の突起とブラケットストッパーの溝部をしっかりと合わせ、ガタツキがなくなるまでしっかりと固定用ネジで締め付けてください。

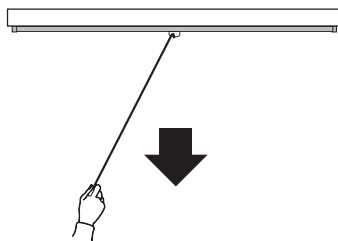
**突起部  
拡大図**



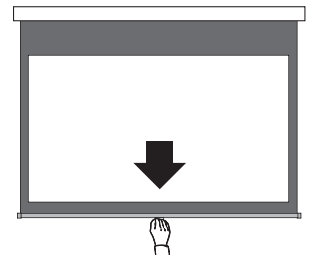
## ご使用方法

### 引き出すとき

**1** スクリーンを引き下げる時は、付属のフック棒を使用してください。

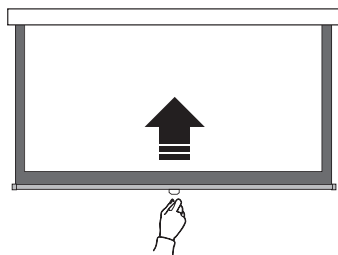


**2** 引き下げ金具を持ってスクリーン面を希望の位置まで軽く引き下げてください。スクリーンは任意の位置で止まります。



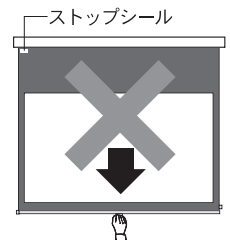
### 収納するとき

**1** 収納するときは、スクリーン下部の引き下げ金具を持ってほんの少し引いて手を離してください。スクリーンはゆっくり収納されます。



**禁止**

スクリーンのストップシールを越して無理に引き下げないでください。限度を越して無理に引っ張りますと、スクリーン生地が芯のアルミローラーよりはがれて落下することがあります。



**注意**

スクリーン面をきれいに保つため、ご使用のあとは必ずスクリーンをプロテクターケース内に巻き返してください。その際虫等が付着していない事を必ず確認してください。

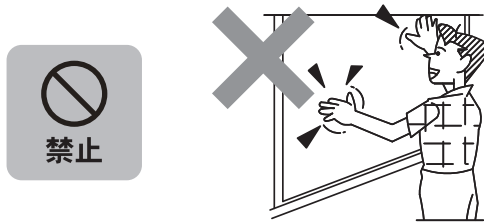
**禁止**

スクリーン生地下端部のパイプに、ぶつからないようご注意ください。

## 使用上のご注意

スクリーン面は反射性能を特別に強力にするために、スクリーン表面が特殊な構造となっています。傷や汚れがつくと、映写効果を損なう恐れがありますので、次のことに十分注意をして、丁寧にお取り扱いください。

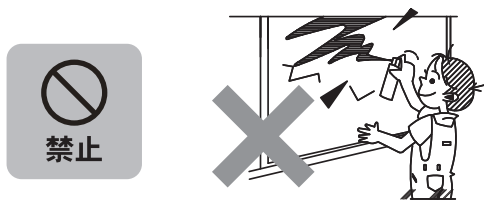
- スクリーン面に手をふれないでください。



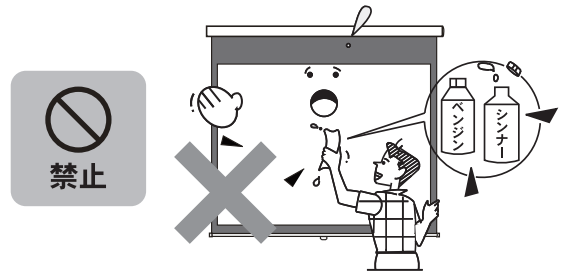
- ケースは絶対にあけないでください。故障のときはお買い上げの販売店にご相談ください。



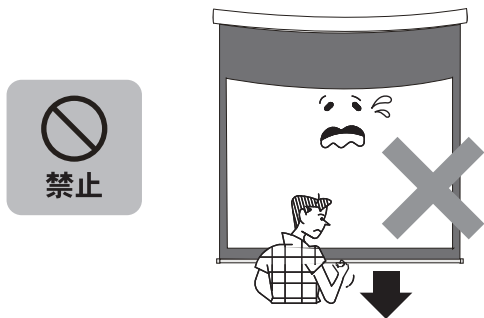
- スクリーン面に文字などを書かないでください。スクリーン面に書かれたものは、筆記用具の種類を問わず消すことができません。



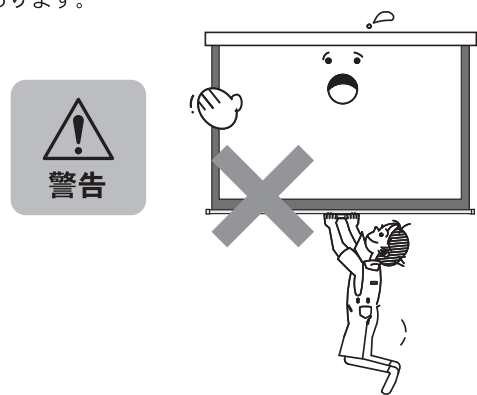
- 水を湿らせた布やベンジン、シンナー等でスクリーン面をふかないでください。スクリーンの表面が変質したり塗料がはげたりします。



- スクリーンを無理に引き下げないでください。本体または、スクリーンが脱落する恐れがあります。



- ケースやスクリーンにぶらさがったり、掲示物をかけたりしないでください。破損したり、落下してけがの原因となることがあります。



## お手入れのしかた

- ケースの汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた洗剤にひたした布を絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

- スクリーン面のほこりをとるときは、柔らかいブラシで軽く払ってください。

## 置き場所・保管についてのご注意

- 直射日光の当たる場所、ホコリや湿気の多い場所や熱気具のそばなど、直接熱が当たる場所は変形・故障や事故の原因となります。又、高温の車中への放置もさけてください。